

英国における共通試験 GCE A, GCE AS 及び GCSE の問題作成と採点システムについて

研究開発部試験方法研究部門 岩 坪 秀 一

英国の大学入学者選抜は、GCE A levels, GCE AS levels (18才時受験) 及び GCSE (16才時受験) と呼ばれている学力認定試験の成績に基づいている。試験問題は、各教科・科目ごとに用意される試験シラバス、すなわち試験で判定される学力(知識、技能等)の内容、分野、形式、試験時間、分量等を示したものに、従って作成される。試験シラバス及び試験問題の作成、採点は、4つの試験実施機関(Awarding body)*が独立に行うが、試験の公平性を図るため、問題作成及び採点等に係る体制を詳細に規定した試験実施要項が、上部機関 QCA (Qualifications and Curriculum Authority) から毎年発行されている。上記4試験実施機関はこの要項に従うことが義務づけられている。以下、QCA の実施要項に示された GCE 及び GCSE 共通の体制について概略を示す。

英国の試験は、伝統的に記述式が主体であり、試験の難易度の年度間安定性、採点の公平性、の保持に細心の注

意が払われている。

問題作成と採点まで、以下の体制が組織化されなければならない。すなわち、①Chief examiner (試験問題がシラバスを満たしているかの精査)、②Principal examiner (問題の作成、解答並びに採点方法の設定)、③Reviser (問題の原稿段階で内容、解答範囲等が適切であるかの検査)、④Assessor (採点方法を参照せずに問題を点検、試験時間内で解答可能か、問題に誤り・不足部分がないか、採点方法の採点と試験問題の配点とが首尾一貫しているか等を確認) ⑤Assistant examiners (答案の採点)、の人員配置である。なお、全体を統括する Chair of examiners がいる場合もある。以上は契約制で主に高校教育関係者が就任する。さらに常勤の⑥Awarding body officers (試験全般の支援) が加わる。

とくに Chief examiner は問題作成、採点の実質的責任者で経験豊富な人物が就任している。問題作成には、ほぼ2年をかけている。試験実施から採点

終了まで約2ヶ月かかる。各答案は点数で採点されるが、最終的には段階評価である。GCE A と GCE AS の成績は、上位合格Aから下位合格E及び不合格の6段階、GCSE は上位Aから下位Gまで及び不合格の8段階である。試験実施後、各科目ごとに採点方法に則って答案の仮採点をして、その結果により調整が行われる。試験実施機関は、段階評価のための境界の設定も含め、採点方法を決定する。採点者は、割り当てられた答案用紙の一部を、決定された採点方法に従って採点、その結果を Chief examiner, Principal examiner が点検、十分ならば採点を続

行、不十分ならばやり直しが命ぜられる。

問題作成、採点過程で関係者間の緊密な連絡が取られ、新任者の教育もある。QCA による外部評価、試験実施機関間の連絡会議も行われている。

〔参考文献〕 GCSE and GCE A/AS code of practice (1999), QCA, London.

*イングランド、ウェールズ、北アイルランドにある。なお、スコットランドは独自のシステムを持っているが、本稿では触れない。